

2025 年 5 月 30 日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

手指腱断裂の評価における CT および FRACTURE MRI の比較

2. 研究責任者

JA 愛知厚生連 海南病院 放射線室 中野 雅浩

3. 研究の概要

手指の腱断裂は、日常生活に大きな影響を及ぼす頻度の高い外傷である。磁気共鳴画像法（MRI）は、骨や手関節の支持構造、周囲の軟部組織を詳細に描出することが可能であり、腱損傷の診断において重要な役割を担っている。特に高磁場 MRI による撮像では、腱の解剖学的構造がより明確に可視化され、腱断裂が疑われる症例においては、MRI、コンピューター断層診断（CT）、超音波などを組み合わせた複合的診断が行われることが多い。従来の MRI でも腱断裂は信号欠損として確認可能であったが、診断に苦慮することもあった。MRI は軟部組織の描出に優れる一方で、3D 画像としての可視化も困難という課題があった。このような中、近年開発された新しい撮像技術である FRACTURE (Fast field echo resembling a CT using restricted echo-spacing) により、MRI における骨や腱のコントラスト描出が向上し、薄いスライスと高分解能な撮影が可能になった。FRACTURE は骨の描出に有用との報告はあるが、手指腱断裂における有用性は十分に検討されていない。また 3D 画像で CT と MRI を詳細に比較した検討は、我々が知る限りまだない。本研究では、FRACTURE MRI の臨床的有用性を明らかにすることを目的とした。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2023 年 4 月から 2025 年 2 月までに手関節 MRI を施行した患者さん

② 使用する試料等

残余検体：使用なし（追加検査等はありません）

カルテ情報：年齢、性別、診断名、画像検査結果に関する情報などから後方視的にデータを抽出する。

5. 個人情報の取扱い

患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際個人を特定できる情報の掲載は行いません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 放射線室 中野 雅浩

電話：0567-65-2511（代表）